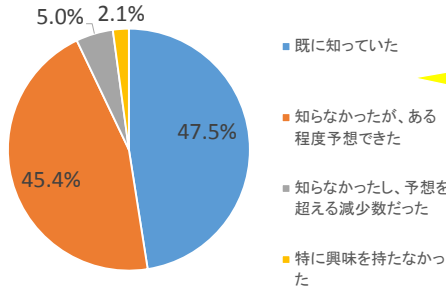


部活動に関する「意識調査」 全回答数 141件

中学校の部活動数の減少を知っているか



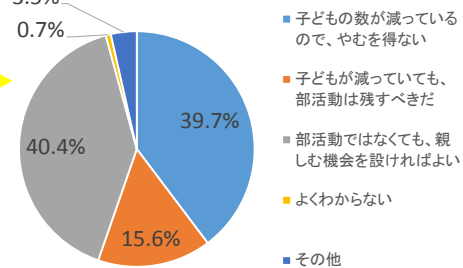
中学校の部活動数の減少は141名中67名(47.5%)が知っていて、64名(45.4%)が予想できていた

「子どもの数が減っているので、やむを得ない」39.7%

「部活動ではなくても、親しむ機会を設ければよい」40.4%

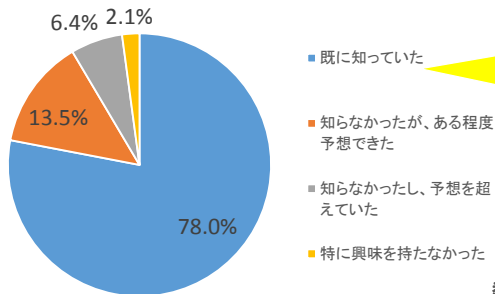
「子どもの数が減っていても、部活動は残すべき」15.6%

部活動数減少について、どう思うか



部活動に関する「意識調査」 全回答数 141件

中学校教員の休日勤務の現状を知っているか



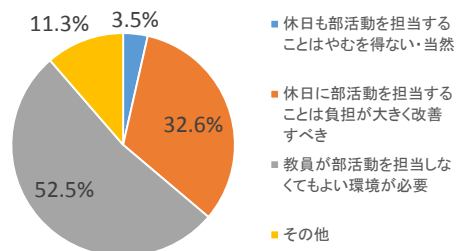
中学校教員の休日勤務は141名中110名(78.0%)が知っていて、19名(13.5%)が予想できていた

「教員だから休日も部活動をするのはやむを得ない」3.5%

「教員が休日に部活動を担当するのは負担が大きく改善すべき」32.6%

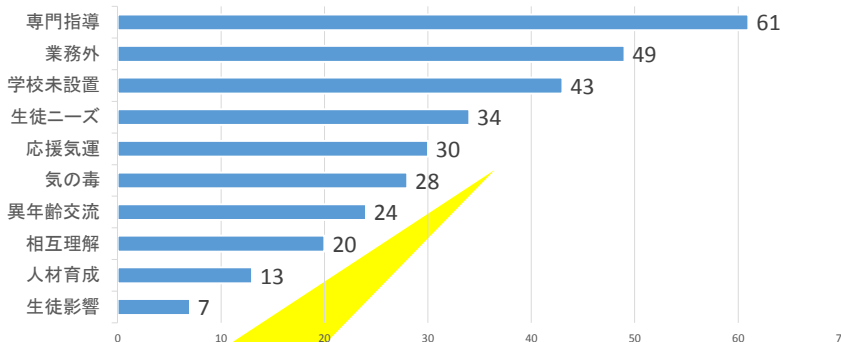
「教員が部活動を担当しなくてもよい環境が必要である」52.5%

教員の負担が大きいことを、どう思うか



部活動に関する「意識調査」全回答数 141件

地域が担うべき理由(上位3個選択) n=309

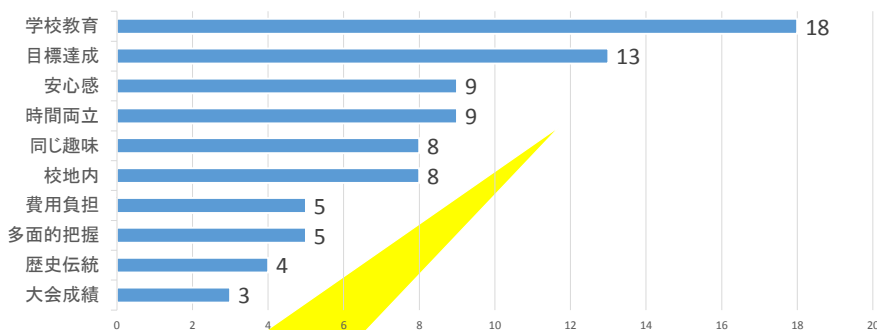


上位3つは、
 「専門指導を専門の指導者から
 受けることができるから」
 「そもそも部活動指導は
 教員の業務ではないから」
 「学校に設置されていない種目で
 活動できるから」

- ・生徒のニーズに沿った活動の拡充
- ・地域ぐるみで生徒を応援する気運の醸成
- ・教員が忙しすぎて気の毒だ
- ・自校以外の生徒や異年齢の人と交流できる
- ・学校と地域の交流による相互理解が促進できる
- ・若い世代の人材育成、地域振興に繋がる
- ・部活動顧問の生徒への影響が大きい

部活動に関する「意識調査」全回答数 141件

学校が担うべき理由(上位3個選択) n=82

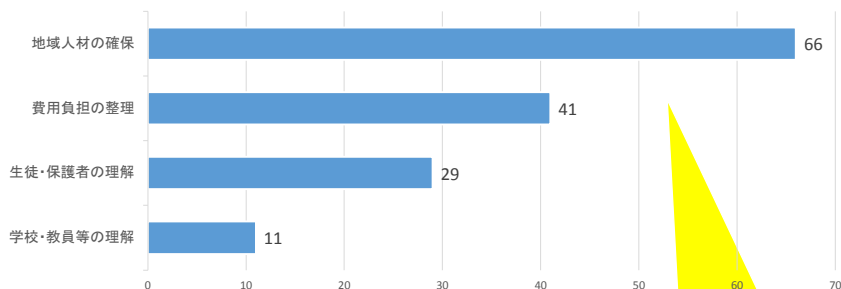


上位4つは、
 「部活動は学校教育の一環だから」
 「技術・技能向上や目標を
 達成できるから」
 「学校や教員・部活動指導員に
 安心して任せられるから」
 「学習時間との両立で
 長時間の練習になりにくいから」

- ・同じ趣味を持つ友人と活動できる
- ・放課後の時間を校地内で過ごしてほしい
- ・月謝などの費用負担が少ない
- ・生徒の活躍の場面を多面的に把握したい
- ・部活動の歴史や伝統を守る必要がある
- ・試合や大会で良い成績を残せる

部活動に関する「意識調査」全回答数 141件

地域移行する際の課題(上位2個選択) n=147

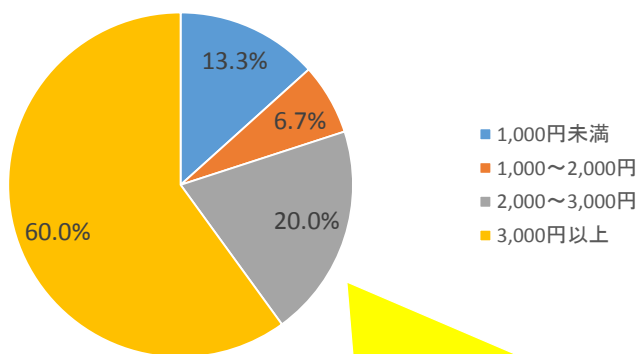


地域が担うべきと回答した教員(75名)のうち、**27名、36.0%**が「兼職兼業」を希望している

上位2つは、「地域人材の確保」「費用負担の整理」委託事業の委託先でも、同様の課題を認識しています

部活動に関する「意識調査」全回答数 141件

自分で費用負担する場合に適当な月額 n=15



2,000円以上が8割であり、ある一定程度の受益者負担は致し方ないものと考えている

一方で、1,000円未満との回答も一定数あり、費用負担が発生すると、部活動に参加できない生徒が生じる恐れがある